



みんなで 守り育てる  
**特集 街のみどり**

緑にあふれたまち・旭川。私たちの周りの花壇や公園を  
 守り育てる取組みは、たくさんのボランティアに支えられています。  
 緑を楽しめる スポットや、  
 ボランティア活動に携わる方の思いを紹介します。

駅の近くに素敵なガーデン  
 があると知り、昨年からボ  
 ランティアを始めました。  
 季節の花を間近で感じ、香  
 りに癒やされます

市民が守り育てる、まちなかのオアシス  
**あさひかわ北彩都ガーデン**

旭川駅に直結する、あさひかわ北彩都ガーデン。全国でも珍しいこの  
 ロケーションづくりを支えるのは、約90人の市民ボランティアです。ボ  
 ランティアが作り上げた花壇と、四季の自然が織りなす風景は、訪れる  
 人をほっと癒やしてくれます。「市民が守り育てる」を目指して誕生し  
 たガーデンは、市民の思いに生まれ、市の新しい顔になりつつあります。



市民ボランティア  
 元住 稔さん、美代子さん

ボランティア7年目の元住  
 稔さん・美代子さんは、  
 隔週で花壇の手入れをしてい  
 ます。自宅のベランダで花を  
 育ててきた美代子さんが、稔  
 さんを誘ってボランティアに  
 応募。「皆さんと気楽に作業  
 できて楽しいです。草取りが  
 好きで、無心になれます。訪  
 れた方に、きれいですねと言  
 われると、少しは役に立って  
 いるのかな、とうれしくなり  
 ます」と言います。

**無心に、気楽に楽しむ**



市民ボランティア  
 坂本直美さん

二人が忘れられないのは、  
 旭川へ遊びに来た幼い孫が、  
 喜んでガーデンを走り回って  
 いる光景です。「素敵な場所  
 だねと言われ、自分がここを  
 手入れしているんだと改めて  
 うれしくなりました」と誇ら  
 しげです。ガーデンと日常的  
 に関わることで、季節はもち  
 ろん、1週間ごとに変わる花  
 の表情を楽しめます。

今年は職員たち15人で  
 種から4万株を育てま  
 した。毎日変化があり  
 大変ですが、やりがい  
 もあります。満開の花  
 を見に来てください



北海道療育園  
 担当スタッフの皆さん

優しい「花の道」が結ぶ、人とまち  
**春光台フラワーロード**

福祉施設の多い福祉村がある春光台地区には、12kmにわたるフラワ  
 ーロードがあります。フラワーロードは、種から花の苗を育てる北海  
 道療育園、その苗を沿道に植え育てる2つの市民委員会や地元の学生  
 など、延べ約5千人の市民が携わり、支えています。現在、マリーゴ  
 ールドなど約4万4千株の花が植えられ、道行く人の心を和ませます。

**「共に生きる」を形に**

活動のきっかけは、約30年  
 前、当時の北海道療育園の理  
 事長が、施設内に200mの  
 花壇を設けたことでした。「福  
 祉村への目印になり、利用者  
 や道行く人に風景を楽しんで  
 ほしい」という思いから、園  
 内で育てた苗を地域に贈ると、  
 共感の輪が広がり、地域住民  
 の手で、沿道の花で彩る活動  
 が始まりました。障害者と地  
 域住民が「共に生きる」を形  
 にしたこの活動は、今も続け  
 ています。

います。住民が顔を合わせ、  
 近況を伝えるコミュニケーシ  
 ョンの場でもあります。若い  
 力を借りて、長く活動を続け  
 たいです」と話します。  
 春光台地区市民委員会長の  
 菊地芙美恵さんは「春光台  
 地区はコミュニティ・スク  
 ールが盛んで、学校もフラワ  
 ーロードの活動に積極的です。  
 地域の子供が「春光台はきれ  
 いだね、と友達に褒められた」  
 と教えてくれ、私もうれしく  
 なりました。これからも若い  
 世代と一緒に活動を続け、地  
 域全体で子供を育てていき  
 たいです」と語ります。  
 自分たちの地域を良くした  
 という住民の思いが、息の  
 長い活動を支えています。

**北彩都ガーデンの催し**

①ハーブガーランド作り=8/28(土)  
 10:00~11:30 ②ハーブロープ作り  
 =9/4(土) 10:00~11:30 ③ガー  
 デンガイド=9/11(土)・18(土) 10:00  
 ~11:00  
 定各10人 ①②1,000円  
 ③8/20(金)からガーデンセンター(宮  
 前2の1 ☎74・5966)

# まちを彩る花々

道路脇の花壇や公園などに咲く花々を紹介します。



ルドベキア



フロックス



オミナエシ



エキナセア



インパチェンス



マリーゴールド



サルビア(スプレnden)



サルビア(ファリナセア)



エゾミソハギ



ペチュニア



ラベンダー



シュウメイギク



ヘメロカリス



ベゴニア



ミヤギノハギ



ムクゲ



ユリ(カサブランカ)



アナベル



アスチルベ



ワレモコウ

## マンション発の“花街道”



千葉弘子さん

旭川駅近くのマンション・ロジェ宮下通。玄関に面した市道脇の花壇を、マリーゴールドなどが彩ります。入居者の有志で管理し、その活動は今年で5年目を迎えます。

かつて、この花壇は雑草だらけ。「もったいない」と感じた入居者の千葉弘子さんが、市の花株助成事業に応募したのが始まりでした。緑のセンターに助言をもらい、夫の富久男さんと手探りで育て始めました。2年目は、その様子を見た入居者たちが輪に加わりました。

「道行く人が立ち止まって見てくれたり、声を掛けてくれたりするようになりました。今では近隣の建物の前にも植えられ、まるで“花街道”です。新型コロナウイルスで暗くなりがちなので、見てくれる人を明るくしたいですね」と千葉さん。毎年花を植え替えることで、人の輪が広がっています。

私たちの暮らしに癒やしを与え、人と人のつながりをもたらす緑。新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が続き、緑が持つ力を感じる人も増えています。

日々、何気なく目にしていく草花や公園は、多くのボランティアの協力があって、美しく保たれています。身近な公園に足を運ぶなど、美しい緑に触れてみませんか。

【詳細】公園みどり課  
電話 25・9705



市民に愛される、歴史ある公園

## 常磐公園



山崎千恵子さん

### 緑の下の力持ち

100年以上の歴史がある常磐公園。花の管理などをボランティアが支えています。中でも、30年以上ほぼ毎日通う84歳の山崎千恵子さんは、知る人ぞ知る緑の下の力持ち。朝7時台から、ごみを拾い、バケツに水をくみ、雑巾とスポンジで公園中のベンチと水飲み場を拭き上げています。山崎さんは、常磐公園の近くで生まれ、公園と共に暮らしてきました。あるとき公園を歩いていると、ハトのふん

や泥などベンチの汚れが目につき、「ここは自分の庭みたいなもの」と思い、人知れず公園の清掃を始めました。「観光客に『まちなかに素晴らしい公園があるのですね』と言われると自分のことのようにうれしくなり、公園を訪れる市民からのねぎらいの言葉も支えになっています。ボランティアとして関わる花壇には、日々癒やされています」と話してくれた山崎さん。美しく手入れされた常磐公園には、黙々と汗を流す人の思いが詰まっています。

## マリーゴールド2,000株を寄贈

今年も、道北造園建設業協会からマリーゴールド2,000株が市に贈られました。昭和通を色鮮やかに彩っています。



## 花フェスタ旭川オンライン開催

道北最大級の花のイベント「花フェスタ2021旭川」が、オンラインで開催中です。オープンガーデンの紹介や、花のミニ講座などを、特設サイトで楽しめます。

